



支部だより ひがし

発行日 令和元年12月19日
発行 笠間市社協東支部
編集 広報委員会
印刷 有限会社 テクノプラン



茨城県立中央看護専門学校



「時計台」によせて

広報紙の「時計台」コーナーは昭和60年から始まっており、「時計台」のネーミングは、県立中央看護専門学校の時計台から採ったものです。この大時計は一刻も休まず、私達の地域の出来事をつぶさに見えています。

あなたが見たたり、聞いたたりして感動したことや、考えさ

福祉の道を志して

祖母の思いを胸に

原店(南友部)大輔
橋本

私の祖母は癌で余命3カ月と宣告されながらも、宣告から2年後に亡くなりました。2年もの期間があったにも関わらず、私はほとんど祖母の面会にも行かず、何もしてあげられなかったことを、亡くなった後になってすごく悔しかったです。その後悔をきつかに、その思いを他の高齢者

せられた地域の出来事、また、微笑ましい話など、どうぞこのコーナーにお寄せください。小学生もお年寄りもどんな書いてください。そして、広報紙を通じて、お互いに触れ合うことができれば、この上ない喜びです。

決意と思い

看護学生 堀 紗香

戴帽式を終えた今、私は看護師を目指したきっかけについて、改めて自分と向き合うことができ、たくさんの方々に支えられながらここまで歩んでこられたのだと実感しました。ナースキャップを頂いた時には、これから先の期待と同時に看護師としての使命を感じ、今まで以上に自覚と

のために何かできないかと考え、福祉の道を志しました。

福祉系の大学を卒業後、高齢者施設に就職し、介護職員や相談員を得て、現在は、介護支援専門員(ケアマネジャー)という仕事に従事しています。

介護支援専門員とは、高齢者やその家族の相談に応じ、介護保険のサービスやその他のサービスの利用調整や関係者間の連絡調整をする専門職です。各々が自立した日常生活を営むことができるよう支援をする仕事です。

感謝をこめて

友部小 5年 紺野 陽香

私の通学路に毎日、登下校を見守ってくれる方々がいます。最近危険な事故が多いので「気を付けて」と声かけしていただけると、とても安心します。また、家の近くのグラウンドで運動をしている時、「がんばって!!」とほげましてくれたり、一緒にテ

責任を持つて行動をしなればいけないと気が引き締まりました。

これから先、大変なこともたくさんあり、時には挫けそうになることもあるかもしれませんが、そんな時には初心を忘れず、ナースキャップを頂いた時の気持ちで、一日一日を大切に頑張っていきたいと思っています。

家族形態の変化により、高齢者世帯や一人暮らしの利用者が増え、自宅での生活を不安に感じている方が多くなっていると感じています。その中で、気軽に何でも相談してもらえような「身近な相談相手」となれるように、また、その方のこれまでの人生を尊重しながらも、少しでも安心して生活できるような支援を心掛けています。

今後多くの方が、自宅において安心して過ごせるようなお手伝いをしていければと思っております。



パン食い競争

柿橋運動会

天気にも恵まれた11月3日、約700名の参加者が集まり、第33回柿橋運動会が盛大に実施された。



二つの練習に付き合ってくれる方もいます。そんな温かい人達がたくさん住んでいる空間で過ごせてとてもうれしく思います。私も将来地域の役に立てるような立派な大人になりたいです。



皆さんで料理の試食

女性部配食研修会

10月29日、社会福祉協議会主催による女性部研修会(料理教室)が開かれました。

女性会員22名が参加し、管理栄養士の小澤美智子先生から配食弁当づくりの注意点と、食中毒防止について講義を受けた後、実習を行いました。

11月24日の配食サービスに向けて、良い勉強会となりました。

ふるさとまつりバザー

女性部部長 生天目 純子

10月19日(土)、友部公民館で開催された「ふるさとまつりinかさま」でバザーを実施しました。支部役員・女性部役員で会員の皆様から提供して頂いた品物に、前日に値付けをしました。

当日は朝からの雨で人出が心配されましたが、雨の中大勢の方が来て下さり、たくさん品の物を買って頂きました。

益金は今後の支部活動のために活用させて頂きます。

元気で頑張っています —バラ園の主(あるじ)—

西内郷 佐々木 忠男さん(79歳)

佐々木忠男さんは福島県生まれの79歳です。福島県と茨城県の間を数回転勤し、1986年からこの地に住むようになりました。

青々と色づく田んぼ越しに

電車が見える西内郷区の住宅

路地を歩いていくと、別世界

に迷い込んだようなバラの

園、佐々木さんの家が見えて

きます。佐々木さんは50歳か

らバラ栽培を始め、最初は見

よう見まねでした。バラ園へ

見学に行ったり、栽培に関係

する本を読んだり、自分で研

究したりと試行錯誤でした。

現在は友部バラの会の指導を

しており、会員の皆さんと一

緒に友部公民館のバラの手入

れをしています。

現在、佐々木さんの庭では

250種類、300本が育て

られています。バラの栽培は

病気にかかったり、害虫(オ

オタバコ蛾)がバラのつぼみ

へタマゴを産みつけますの

で、消毒が欠かせません。佐々

木さんの両腕には、トゲによ

る掠り傷が多く見受けられ

ばらへの愛情が深く感じら

れました。これからも体に充

分気をつけて、元気に頑張っ

て下さい。

(聞き手 斎藤 義範)

自宅庭の自慢のバラ園

敬老会 開催

台風19号の影響で延期や中止となった敬老会もあったが、南友部区は10月5日、宮前・鴻巣区は10月13日、五平区は11月3日に開催された。南友部区はハイビスカスとその仲間たちによる演奏、宮前・鴻巣区は落語会、五平区はハーモニカ演奏などが催され、楽しい一日を過ごした。



南友部 (ハイビスカスとその仲間たち)



五平 (米寿表彰)



宮前・鴻巣 (落語会)



フラダンスショー

対話と食卓会 南友部ブロック

11月10日に南友部ブロックの対話と食卓会が地域交流センターともべ(トモア)で開かれた。余興ではワイキキさんによるフラダンスショーとビンゴゲームが行われた。フラダンスショーでは支部長と副支部長が入り、大いに盛り上がった。

カバヤ関東工場見学

女性部副部長 菱沼 紀子

五平ブロックのミニサロンは10月2日、カバヤ食品の関東工場を見学した。カバヤ食品は終戦翌年の昭和21年、「おとなしく、平和を愛する」という穏やかなイメージのある動物の「カバ」を社名に誕生した。

ビデオによるチョコレート

ができるまでの説明を受けた

後、「さくさくぱんだ」製造ラ

インを見学した。このお菓子

はチョコレートとビスケットを

合わせたもので、製造は自動

化された素早い動きに対して、

検査は人間の目視によるもの

で、対比的であった。

行きは「道の駅かつら」、帰

りは「道の駅かわプラザ」に

立ち寄り、買い物を楽しんだ。

クリーンアップ活動

今年暑い夏が終り、栗の実が色づいて来た9月19日(第3木曜日)の朝、始業前に「おはようございます」の声が響く。柿橋地区に立地するキャノンモールド株式会社本社工場のクリーンアップ活動が始まりました。毎月第3木曜日(雨天の場合は第4木曜日)に工場周辺500mの範囲で清掃活動を行っており、10年以上継続しています。会社の方針として地域社会貢献活動は、今後も取組まれて行くとのことでした。活動中の皆様に会った「ご苦勞様です」とご挨拶したいです。

編集あとがき

今年を振り返ってみると、春は平成の時代から令和の時代へと御代(みよ)が変わり、夏は酷暑が続き、秋はお彼岸が過ぎて10月になっても連日30度の日が続く異常気象であった。大型台風が関東甲信越、東北に上陸、あるいは接近し、洪水、崖崩れ、道路の寸断と甚大な被害をもたらした。

一方、天皇即位礼正殿の儀で、日本国中は勿論、世界各国から祝福される明るいニュースもありました。来年は明るく穏やかな年である事を願うばかりです。

(六戸 正夫)